

## プログラム名

対 象：(学校種や学年など)  
 人 数：(最少催行人数から最大人数など)  
 教科／分野：(教科や分野との関連があれば)  
 授業時間数：(単発でも、連続でも可)  
 場 所：(屋外の場合は雨天時の対応も)

\*このフォーマットは、余白を詰めています。適宜広げて使ってください。

ESD プログラム への思い	(今回、ESD を意識したプログラムをつくるにあたって、「これを大切にしたい!」「こういう考え方を意識した」「こんな視点を重視した」というものを記述してください)		
目標	(このプログラムをつうじて、学習者がなにをできるようになることを目指しているのかを簡条書きしてください。その際、「学習者が・・・をできるようになる」「学習者が・・・を考える」「学習者が・・・を習得する」などのように、学習者を主語として表現してみてください)		
特徴	(他のプログラムとの違い、工夫した点、地域の特性など、このプログラムの特徴について簡条書きしてください)		
持続可能な社会づくりの構成概念	(このプログラムと、持続可能な社会 (SD) を実現する 6 つの構成概念[多様性・相互性・有限性・責任性・連携性・公平性]とのつながりを記述してください)		
重視する 能力・態度	(このプログラムをつうじて学習者に修得してもらいたい能力・態度があれば、記述してください。①批判的に考える力、②未来像を予測して計画を立てる力、③多面的、総合的に考える力、④コミュニケーションを行う力、⑤進んで参加する態度、⑥つながりを尊重する態度、⑦他者と協力する態度)		
プログラムの流れ			
内容：(活動内容を具体的に記述してください)			
方法：(講義・体験など活動の実施方法を記述してください)			
場所：(活動を実施する場所(田んぼ、清掃工場、教室など)を記述してください)			
ねらい：(各活動で意図しているねらいを記述してください)			
時 間	ねらい	方法 場所	内容
SDGs との関連性	(プログラムと SDGs との関連性がある場合、記述してください。*169 の具体的なターゲットを示せる場合は、「14.1・・・」のように記述してください)		
学校・地域等との 連携上の考慮	(学校・団体・地域等との連携上、考慮すべき点があれば記述してください)		
対象を発展させる 可能性	(もし、他の学年や学校種などを対象に発展できそうであれば、そのための工夫などを記述してください)		
その他 補足事項	(準備するものを指定するものがあれば記述してください)		

プログラム作成者名 (団体名) :